

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～26℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり0.6トンの水揚げで、前週の7%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の2倍。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の42%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり143kgの水揚げで、前週の63%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり82kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.8トンの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり426kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり238kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり271kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/25～6/30の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は能登沖に出漁。赤イカは北太平洋で操業中。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡及び能登半島となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2 - 17号 長崎県周辺海域の海面水温（7月号）」を発表しました。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>